

## 平成25年度事業報告

### 概 況

厚木市シルバー人材センターは、昭和52年に神奈川県下各市町村に先駆け高齢者事業団の発足に始まり、次いで平成元年に社団法人として法人化し、さらに一昨年公益社団法人に移行し、設立以来37年を迎えることとなります。

この間、厚木市を始め、市民の方々などから御支援、御協力をいただき高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、会員自らがセンターの事業運営や組織運営に積極的な参画により事業展開してまいりました。

一方、事業実績は、国内外の諸般の状況による景気回復の不透明感が残る中で、契約金額は年度毎に下降、上昇を繰り返しましたが、平成25年度は前年度を上回ることができました。

平成25年度の契約金額は368,067千円、会員数は1,045人、就業実人員は1,016人、就業率は97.22%で、引き続き、個人・家庭を中心に「受注の拡大」に努めた結果、受託件数は4,561件で過去最高の実績を上げることができました。

このように、個人・家庭からの「受注の拡大」は、幅広い支援機能を備え活力ある高齢社会を支える地域の中核団体として、会員、役員等が一体となり「会員の増強」と併せて、地域に密着した公益目的事業を着実に実行した成果であります。

また、「中・長期基本計画」の前期実施計画の評価、検証を踏まえ、平成25年3月に定めた後期実施計画について、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を念頭に、「組織体制の充実」を図りながら、実効性のある計画として推進しました。

事業実績	平成25年度	平成24年度	増 減	前年度比
契約金額	368,067千円	363,389千円	4,678千円	1.3%
受託件数	4,561件	4,311件	250件	5.8%
会員数	1,045人	1,072人	△ 27人	△ 2.5%
入会率	1.63%	1.71%	△ 0.08ポイント	—
就業実人員	1,016人	1,080人	△ 64人	△ 5.9%
就業率	97.22%	100.74%	△ 3.52ポイント	—
就業延人員	88,597人日	87,175人日	1,422人日	1.6%

※ 契約金額目標値 3億8100万円 達成率 96.6%

※ 会員数目標値 1180人 達成率 88.6%

## 実 施 報 告

健康で働く意欲のある定年退職者等の高年齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り地域社会づくりに貢献するため、後期計画の基本視点に基づき検討、実施しました。

### 1 会 員 の 増 強

地域の需給バランスを考慮に、役員、会員等の口コミによる勧誘や各種広報媒体を活用し、主に個人・家庭の職種に従事する会員の増強に努めましたが、団塊の世代の65歳到達による新規入会者は少なく、会員数は微減しました。

#### (1) ホームページ、会報、リーフレット等広報媒体を活用した会員募集

担当委員会等	具体的検討及び実施項目
総務 地域活動	・ 会員増強リーフレット等の全戸配付及び公共施設配架 全戸配付参加人数 670人 配付部数 80,000部 新規入会者(希望職種) 植木剪定、除草、襖張り、家事援助等 計 143人(男 97人、女 46人)
広 報	・ 会報「年輪」及びホームページ記事掲載
事 務 局	・ 自治会長及び民生委員児童委員に会員増強の趣旨説明

#### (2) 女性会員の募集強化のための新たな組織等の検討

担当委員会	具体的検討及び実施項目
総 務	・ (仮称)サロン・女子会の内容検討 目的、位置づけ、運営、家事援助班会議出席等

#### (3) 会員の資質向上のための研修会の開催

##### ア 接 遇 研 修 会 ( 既 存 会 員 )

期 日 平成25年4月～平成26年3月(年11回)  
場 所 勤労福祉センター・生きがいセンター  
参加人数 391人

イ 接 遇 研 修 会 (入会申込者)

期 日 平成25年4月～平成26年3月(年12回)

場所・内容 生きがいセンター

参加人数 158人

担当委員会	具体的検討及び実施項目
総 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇体験講話の実施(接遇研修会時(入会申込者))</li> </ul> <p>年12回 参加人数 158人</p>

(4) シニアワークプログラム(SP)事業への参画

神奈川県シルバー人材センター連合会主催の高年齢者の就業支援に資することを目的とするSP事業(シニアワークプログラム地域事業)の制度見直しにより、参画できませんでした。

## 2 受注の拡大

景気の穏やかな回復に未だ不透明感が残る中で、役員、会員等による効果的な普及啓発活動等を展開し、主に個人・家庭から植木剪定、除草、家事援助等の受注の拡大により、契約金額や受託件数が増加しました。

(1) ホームページ、会報、チラシ等広報媒体を活用した受注拡大

担当委員会等	具体的検討及び実施項目
業務開拓 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注拡大リーフレット等の全戸配付及び公共施設配架</li> </ul> <p>全戸配付参加人数 670人 配付部数 80,000部</p>
広 報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会報「年輪」及びホームページ記事掲載</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会長及び民生委員児童委員に受注拡大の趣旨説明</li> </ul>

(2) 役員、会員による就業開拓

担当委員会	具体的検討及び実施項目
業務開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間企業等への定期訪問</li> </ul> <p>受注業務確認・新規受注依頼</p> <p>定期訪問 20回 延べ122事業所</p>

### (3) 高齢化社会に対応した受注活動

厚木市が推進する「安心・安全なまちづくり」の施策に基づき、高齢者福祉サービスの充実に伴う高齢者世帯等の生活支援について検討しました。

### (4) 新規受託事業の就業開拓

### (5) 新規独自事業の調査研究

担当委員会	具体的検討及び実施項目
業務開拓	・ 新規受託事業の就業開拓 「ポスティング事業」の営業活動 新規受注(依知(金田)、南毛利(毛利台)、森の里)
	・ 新規独自事業の調査研究 先進都市の視察検討

### (6) 一般労働者派遣事業の推進

センター事業の範囲内で雇用形態の働き方となる一般労働者派遣事業について、引き続き、公社及び民間から2件、新規に民間2件計4件受注することができました。

## 3 組織体制の充実

公益目的事業を着実に実行し、推進するため、さらに顧客サービスの向上をとおして、発注者からの需要に迅速に対応できるよう、受託可能な業務の体制の整備を検討し、組織体制の充実を図りました。

また、会員の増強に加えて、会員の主体的な活動によりセンターの事業運営や組織運営への参画を推進するため、「各委員会」、「地域班」及び「職種班」の各組織の連携強化を図りました。

### (1) 会員参画による組織運営の推進

会員自らが事業運営等に参画できる体制づくりを継続的に実施していくため、「各委員会」等の横断的な連携強化により、委員会実施計画を着実に実行しました。

(2) 地域班活動の充実

担当委員会	具体的検討及び実施項目
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 役割の徹底 リーフレット「地域班の役割とその活動」の継続活用 (入会申込者(接遇研修会時))</li> <li>• 繁忙期の就業体制の構築(整備検討) 地域班会議の開催(内容別記) 第1回 参加人数 575人 出席率 51.5% 第2回 参加人数 522人 出席率 47.2%</li> </ul>

(3) 職種班組織の整備

担当委員会	具体的検討及び実施項目
業務開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな職種班の設置 管理班(管理群)、公民館管理班(管理群)、 家事援助班(サービス群)</li> <li>• 職種班会議の開催 植木班・リーダー会議 5回開催 参加人数 71人 内 容 安全就業、ヒヤリハット事例ほか 除草班・リーダー会議 4回開催 参加人数 47人 内 容 安全就業、受注内容の再確認ほか 襖班会議 2回開催 参加人数 29人 内 容 班編成、情報交換ほか 管理班・リーダー会議 5回開催 参加人数 88人 内 容 各施設概要、安全チェックリストほか 公民館管理班・リーダー会議 5回開催 参加人数135人 内 容 作業マニュアル、連絡網整備ほか 家事援助班会議 4回開催 参加人数 105人 内 容 作業手順、情報交換(女性会員増強)ほか</li> </ul>

#### (4) 公益目的事業の推進

担当委員会	具体的検討及び実施項目
総務	・ 組織統治と法令遵守 不正行為の未然防止及び発生時の対応方策の検討
地域活動	・ 地域貢献活動の推進 社会奉仕活動の実施(シルバーの日(内容別記))

#### (5) 適正就業の推進

未就業会員の解消を図るため、地域班会議やホームページで受注情報の提供や毎月第3水曜日に就業相談日を実施するとともに、センター事業に積極的に参加した会員への仕事配分を推進しました。

#### (6) 会員の技術、技能向上のための講習会の開催

##### ア 植木剪定講習会

期 日 平成25年10月23日(水)・24日(木)  
場所・内容 温水・技能向上、安全就業(新人研修)  
参加人数 5人

#### (7) 職業紹介事業の推進

臨時的・短期的な就業及び軽易な業務で、雇用による就業を希望する高齢者に、引き続き、無料職業紹介の窓口を開設しましたが、利用者はありませんでした。

#### (8) 事務事業の合理化、省力化

事務局機能を強化するため、効果的、効率的な事務事業の執行体制を視野に、総務係及び業務係の連携による情報の共有化により、合理化、省力化を図りました。

#### (9) 職員の各種研修、講習会への派遣

全国シルバー人材センター事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会等が主催する研修会や講習会に事務局職員を派遣し、情報の収集とセンター事業に係る専門知識の習得に努めました。

## 4 安全就業の徹底

地域のセーフティネット(安全網)の役割を踏まえ、会員の傷害事故及び賠償事故を未然に防止できるよう、安全就業に係る指導等の強化について検討し、会員の安全意識の高揚をとおして、安全就業の徹底を図りました。

- (1) 安全就業基準の推進
- (2) 「安全・適正就業強化月間」の設定と関連事業の実施
- (3) 安全スローガンの再設定
- (4) 安全指導のための講習会の開催
- (5) 会員による安全パトロールの強化
- (6) 健康診断受診の啓発

担当委員会	具体的検討及び実施項目																
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全就業基準の推進 就業先マニュアルの整備(公共施設管理業務)</li> <li>• 「安全・適正就業強化月間」の設定と関連事業の実施</li> <li>• 安全スローガンの再設定 安全スローガン(全シ協)及び安全就業標語(県シ連)募集への応募</li> <li>• 安全指導のための講習会の開催 接遇研修会  <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">既存会員</td> <td style="padding-right: 10px;">11回開催</td> <td style="padding-right: 10px;">参加人数</td> <td>391人</td> </tr> <tr> <td>入会申込者</td> <td>12回開催</td> <td>参加人数</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>交通安全講習会</td> <td>1回開催</td> <td>参加人数</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td>応急処置講習会</td> <td>2回開催</td> <td>参加人数</td> <td>29人</td> </tr> </table> </li> <li>• 会員による安全パトロールの強化 巡回11回 延べ41箇所</li> <li>• 健康診断受診の啓発 年3回 安全ニュース(会報「年輪」内)ほか</li> <li>• 安全・適正就業のための制度の検討 ペナルティ制度及び賠償事故による会員自己負担額</li> </ul>	既存会員	11回開催	参加人数	391人	入会申込者	12回開催	参加人数	158人	交通安全講習会	1回開催	参加人数	575人	応急処置講習会	2回開催	参加人数	29人
既存会員	11回開催	参加人数	391人														
入会申込者	12回開催	参加人数	158人														
交通安全講習会	1回開催	参加人数	575人														
応急処置講習会	2回開催	参加人数	29人														

## 5 財政基盤の確立

国内外の諸般の状況によりセンターを取り巻く環境は厳しさを拭えない中で、「自主・自立」による安定した健全経営のため、経常経費の削減や厚木市から新年度の新規受注額確保により、財政基盤の確立を図りました。

### (1) 補助金の確保

国庫補助金の交付に伴う「機能強化推進事業」の成果目標である「受託件数」が前年度を上回り、新年度補助金を確保することができました。

### (2) 人件費の抑制

事務局職員の時間外勤務を引き続き削減するとともに、臨時職員による事務遂行を推進し、人件費を抑制しました。

### (3) 経常経費の削減

公益目的事業に係る就業機会提供事業を推進するため、経常経費の削減による剰余金を新年度事業のための予算編成に役立てました。

### (4) 受注額増大の推進

厚木市を始めとする関係機関との連携強化により、新年度の新規継続業務の増強を図りました。

## 6 その他

### (1) ボランティア活動等の実施

センターが地域社会との共生をとおして、認知度を高め円滑に事業展開するため、ボランティア活動(社会貢献)を実施し、社会的意義をアピールしました。

#### ア 「一日奉仕の日」

期 日	平成25年7月27日(土)
場所・内容	厚木中央公園・除草清掃
参加人数	280人 ※ 前年度320人



## イ「事業普及啓発促進月間」の設定と関連事業の実施

### (ア)「シルバーの日」

期 日	平成25年10月20日(日) ※ 基準日前後週間
場所・内容	公共施設等・除草清掃
参加人数	146人(8地域班) ※ 前年度142人(7地域班)
期 日	平成25年10月10日(木)～11月20日(水)
場所・内容	市内全域 会報「年輪」特別号、受注拡大等リーフレット配付
参加人数	670人(17地域班) ※ 前年度551人(17地域班)

### (2) 情報の開示と個人情報の保護

事業運営上必要となる会員及び発注者の個人情報については、個人情報保護規程に基づき適正に取り扱うなど法令遵守を徹底するとともにその他の保有する情報についてはその開示に努めました。

### (3) 会報誌の発行

センターの事業運営の状況や会員の就業内容の紹介など最新情報の発信源として、会報誌「年輪」を広報委員会の取材編集活動のもと、通常号2回、特別号1回(市民向け)、計3回発行しました。

### (4) ホームページの充実

センターの保有する情報公開を目的に開設しているホームページについて、利用者の利便性を考慮に、広報委員会で内容の充実を図りました。

### (5) 調査研究事業

センターの事業運営を円滑に進めるため、県下シルバー人材センター等と情報交換を行い、効果的、効率的な事業運営を推進しました。

### (6) 独自事業の実施

個人・家庭からの受託事業の受注拡大を図るため、「正月用しめ縄飾り製作・販売」、「刃物とぎ」、「火災警報器取付販売」の各事業を有効に事業展開しました。